

会議の経過	
開会年月日時刻	令和7年12月23日（火） 午後3時00分
閉会年月日時刻	令和7年12月23日（火） 午後4時25分
会議の場所	館林市役所 研修室
会議次第	
1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 議案第55号 臨時代理の承認を求めることについて（令和7年度教育費補正予算） 議案第56号 館林市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第57号 館林市物価高騰対応学校給食費助成金（令和7年度）交付要綱の制定について 議案第58号 令和8年度奨学資金（新規募集）貸与候補者の決定について（非公開） 6. その他 7. 閉会	

会議の経過		
出席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	井 上 美智子 堀 口 哲 哉 木 戸 浩 之 中 村 美江子 栗 原 昇
欠席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	
提案説明のため 出席した者	教育長 教育次長 教育総務課長兼学校給食センター所長 生涯学習課長 参事兼学校教育課長 文化振興課長 スポーツ振興課長 向井千秋記念子ども科学館長 図書館長 総括係長 書記	中 村 美江子 戸 叶 俊 文 木 村 和 好 森 田 秀 利 平 井 智 久 中 村 豊 田部井 修 田 中 洋 子 原 幸 恵 岩 瀬 美花里 横 山 瑠璃子

会議の経過	
教育長	定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後 3 時 0 0 分) 本日の日程は別紙のとおりです。 次に、日程第 2 会議録署名委員を指名します。 今回の署名委員は 3 番 木戸委員、5 番 栗原委員を指名いたします。 次に、日程第 3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議ないものと認め、そのようにいたします。 一般事項(1) 館林市議会令和 7 年第 4 回定例会が、12 月 5 日から 12 月 18 日まで行われました。一般質問では、11 名の議員が質問を行いました。教育委員会関係では、4 名の議員から質問を受け、権田議員、岩上議員、岡野議員については私から、野本議員については教育次長から答弁いたしました。まず、権田議員からは「移住定住施策について」の質問を受け、シビックプライドを醸成させる若者の取組について、関係機関と連携しながら可能な支援の在り方を検討していく旨、答弁いたしました。次に、岩上議員からは「学校教育における人権教育の取組について」の質問を受け、人権教育研修や学校体制、いじめの認知とその防止策、今後の学校像と人的配置等に関して、現状の具体的な取組と今後の方針について、答弁いたしました。次に、岡野議員からは「少子化問題について」の質問を受け、少子化や学校の小規模化に伴う諸課題のほか、学校適正規模・適正配置審議会における進捗状況、そして今後の計画概要について答弁いたしました。最後に、野本議員からは「湯けむり国スポ・全スポぐんま 2029 について」の質問を受け、大会概要や本市開催における施設整備・人員体制等のほか、経済効果を通じた地域活性化の方針について、答弁いたしました。また、前回の定例会で承認いただいた 3 つの議案について、市議会への提案・採決結果をご報告いたします。議案第 50 号 館林市文化会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定については、可決されました。議案第 51 号 三の丸芸術ホール設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例についても可決されました。議案第 52 号 たてばやし向井千秋記念科学館条例の制定については、賛成 8、反対 8 で議長採決となり、残念ながら否決となりました。反対意見の内容としましては、館名の「子ども」を抜くことへのご意見でした。子どもへの様々な事業はこれまでと変わらず継続し、たてばやし向井千秋記念科学館とするこ

会議の経過	
	とで大人も利用しやすい施設にしたいという、これからの未来のための方針を十分には伝えきれなかったものと考えております。この議案については、今後十分にご理解いただけるよう、これからも検討を続けてまいります。私からの報告は以上でございます。 続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。 (事務局から「なし」の声あり)
教育長	それでは今回の事務報告につきまして、質疑がありましたらお願いします。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	4 ページの生涯学習課、1 月 2 5 日に上毛かるた大会が開催される予定です。県では上毛かるたを普及させようと予算化しています。市の取組の現状と課題を教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	基本的に上毛かるたのイベントは市子育連が行っておりまして、こちらは後援となっております。8 月 3 0 日に親子大会等の体験会を開催して延べ 1 0 0 名が参加し、普及に努めました。また、1 月の大会には、全小学校にチラシを配布し、子ども会以外の児童の参加も促しております。また、放課後子ども教室では、かるた教室を開催し、去年は渡瀬で、今年は大野谷と西で開催する予定であります。民間のかるた教室、例えば多々良公民館で行われている上毛かるた教室も後援をさせていただいております。課題につきましては、子ども会の会員が減ってきていることで、やはり子ども会活動と共にかるたへの取組が減少していることです。大会では保護者が審判を担うのですが、そもそも保護者が上毛かるたの経験があまりないということで、申し込むと審判をやらなくてはいけないという点で少し躊躇してしまうことが今の課題となっております。
栗原委員	市としては上毛かるたを大切にしていきたいという方針なのですね。
生涯学習課長	館林かるたと上毛かるたの 2 種類があるのですが、やはり伝統的に受け継がれているものですので、可能な限り続けていきたいと考えております。
栗原委員	引き続きよろしく願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。

会議の経過	
教育長 堀口委員	はい、堀口委員。 4 ページ、1 月行事に小学校家庭教育学級の合同講演会がありますが、こちらの概要を教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは子どもたちの健やかな育成のために、その基盤となる家庭教育について合同で学ぶことにより、これからの家庭教育の在り方を探ることを目的としております。各小学校の家庭教育学級生、保護者、教諭、公民館主事などを対象に行っておりまして、子どもがどんどん話してくれる、会話が楽しくなる話の聞き方を演題に、親子心理相談室の室長を招いて講演を行う予定でおります。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	3 ページの 1 1 月行事、1 1 月 8 日に龍ヶ崎市児童交流会を館林市で行ったようですが、今回の実施内容と参加した児童の様子を教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは親善交流を通して相互の交流促進を図り、両市子ども会の一層の親善を深めるために行っているものです。内容といたしましては、正田醤油文右衛門ホールにおいては醤油ものしり博士による出前講座、市民体育館ではドッジビー体験、つつじ映像学習館では 4 D シアター観るなどしました。この日は交通渋滞のため若干到着が遅れたのですが、ドッジビーなどは混在チームで行い、かなり盛り上がった形で楽しみつつ、交流を深めることができました。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	3 ページ、放課後子ども教室が公民館で行われておりますが、どのようなレクリエーションはされたのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	三野谷ではスポーツ吹き矢体験を行いました。1 9 名の児童が参加してお

会議の経過	
	ります。また西はアサヒ飲料の講座を行っております。前回、学校で行ったアサヒ飲料の講座に関する質問が出たかと思いますが、それよりやや低学年を対象としまして、スマホ顕微鏡を使って乳酸菌の観察と、カルピスを通して乳酸菌の働きを学ぶ内容となっております。こちらは18名の児童が参加しております。渡瀬ではクリスマス飾りを作るということでグルーガンを使ってリース作りをしたのですが、なかなか子どもたちには難しかったのか苦戦する子が多かったと伺っております。こちらは20名の児童が参加しております。以上です。
井上委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	7ページの公民館行事で、11月28、29日に城沼公民館で実施されたチャレンジクラブ「公民館に泊まろう」の目的と実施内容、また、城沼公民館以外で宿泊を実施している公民館があったら教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは災害時の避難所体験を通して、子どもたちの自主性と協調性を育むことを目的としております。内容といたしましては、避難経路の確認や新聞紙を使ったスリッパ作り、あるいはゴミ袋を使ったポンチョ作り、ダンボールでの寝床作りなどを体験しております。17名が参加し、寝床作りなどは特に楽しそうに体験していたと伺っております。昨年度は8月8日、9日で実施したのですが、この日が少し暑かったということで今年度は11月の終わりに実施したところ、今回は寒かったと伺っております。公民館まつり関係もあり、なかなかちょうど良いタイミングで実施できないことが課題になっております。そのほか、赤羽公民館で防災キャンプというものを行っておりまして、基本的には宿泊して防災体験を行う公民館もあります。
栗原委員	確認ですが、その時は保護者の方はもう一旦家に帰られて子どもだけなのですか。
生涯学習課長	基本的には公民館職員とボランティアの方が参加して、一緒に行っております。
栗原委員	わかりました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。

会議の経過	
教育長 井上委員	井上委員。 4 ページ、野辺集会所等で映画会を行っていますが、どのような映画を鑑賞したのでしょうか。また、参加者の年代などを教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	年代は60代から70代の方が多い形となっております。個人戦の輪投げ大会が終わった後に、人権啓発のための映画会として実施しているものです。映画の内容は現在選定中ということで、毎年東京の人権専門の図書館からお借りしております、またそちらからお借りできればと考えております。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	3 ページの11月行事にある携帯・インターネット問題啓発講習会について、9 ページにも同じような記載がございますが、こちらの講演会の内容を教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは青少推、補導員育成団体等からの希望者を対象としておりまして、青少年の育成推進委員や補導員がインターネットやSNSの利便性・危険性を正しく理解し、啓発活動に生かすための内容となっております。基本的にはやはりデジタルタトゥーや出会い系の危険性、高額請求など、補導員や推進委員自身が理解した上で子どもたちに指導していくといえますか、啓発をしていくための内容となっております。
木戸委員	子どもたち向けというよりは、子どもたちを指導する大人向けの講習会ということですか。
生涯学習課長	そうですね、子どもたちに指導する上では、やはり指導する側がそもそもの部分を理解していないと指導できないものですから、そういった内容となっております。
木戸委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	13 ページの医療費請求について、10月と11月を比べますと10月が

会議の経過	
	約130万円、11月が140万円ぐらいでしたが、12月におきましては190万以上と中学校の額が増えています。こちらは手術や入院等があったということでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	そのとおりでございまして、2名の生徒が入院及び手術をしました。額が非常に高かったということです、その2名の合計だけで約145万円になりました。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	12ページ、校長会議の中で「冬休み版学力向上に向けた家庭学習のすすめ」ということを提案されたようですが、その概要と期待する効果を教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	こちらは家庭学習を通して、自ら課題を見つけて自ら学びをマネジメントする、そういった力を育成するために作成しました。約30ページ弱の冊子でして、その中には家庭学習の取組例や家庭学習のカード、保護者への啓発など、そのようなことが盛り込んであります。期待する効果といたしましては、子どもたちが自ら考え、自ら休みの中で目標を持って取り組むことができるように、学びのきっかけになるといいなと思っております。各学校には配布したのですが、このまま活用しても良いですし、実際に各学校でアレンジして子どもたちに配ったり、学校独自でこれを参考しながら作ったりしています。家庭学習に子どもたちが取り組む際の手引きのような形で活用しております。
栗原委員	教職員レベルで共通共有しているものですか。それをどう活用するかは各学校におまかせということでしょうか。
学校教育課長	直接は教職員にしか配っておりませんが、この中には冬休みはこんな取組ができますよ、国語ではこんなことができますよ、算数でこんなことができますよといった取組例等を示しておりますので、そちらを各学校で活用していただいている形となっております。
栗原委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。

会議の経過	
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	12ページの教職員の人事に関することについて、地公臨の方を1名任用していますが、どのような理由で1か月の任用なのか教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	こちらの臨時的任用ですが、休職中の教員の代わりとなっております。診断書が出ておりまして、今年の8月下旬から休職しているのですが、診断書の期日で期間が区切られておりますので、今回の診断書にあった記述ということで短くなっております。
木戸委員	この方が診断を受けてお休みされているということですか。
学校教育課長	この方は代わりに入ってきた方です。お休みされている先生が1人足りないため、配置されたということになります。
木戸委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	6ページ、三野谷公民館の高齢者教室で体力年齢測定等を行ったようですが、この教室の概要や参加された方の様子などについて教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	高齢者同士のふれあいや生きがいづくり、仲間づくりなどを目的に実施しております。体力年齢測定につきましては、スポーツ振興課職員を講師に迎えまして、握力や上体起こし、片足立ちや6分間歩行など全部で6種目行いました。この日は6名ほどの参加ということでやや少なかったのですが、基本的には高齢者教室も大体70歳代から80歳代の方と高齢化が進んでおります。ですが、皆さんそれぞれ真剣に取り組みつつ、楽しみつつ体験されたと思っております。また、ジャズ演奏会につきましては、文化庁の文化芸術鑑賞の体験推進事業を活用してジャズ演奏と七小児童とパーカッションのコラボ演奏を楽しんだということです。こちらは高齢者12名が参加したほか、報告書では全部で46名ということになっておりますので、保護者等も観賞されたかと思えます。高齢者も子どもたちの演奏を聴いてとても楽しんでいただいております。
井上委員	高齢者のスマイル教室の方がジャズを演奏したのかと思っていましたが、そうではないんですね。

会議の経過	
生涯学習課長	こちらは聴く方となっております。
井上委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	15ページ、11月28日の環境省現地視察と、16ページの1月11日に行われる第3回維持管理トライアルの内容について教えてください。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	こちらは環境省の良好な水環境保全活用モデル事業に採択されております。国の事業ということもあって、専門家の方がアドバイザーとして派遣されます。今回は兵庫県立人と自然の博物館の研究員の方に館林市へ来ていただき、1泊2日で茂林寺周辺を視察していただきました。湿原に流れ込む水路や茂林寺川の状況を見ていただいたり、木道の補修に非常に熱心な方でして、先生がプロデュースしている塗料があるのですが、その塗料を塗ると木道の長寿命化に効果があるなど、そのようなことをやっていただいたりしました。本当に多種多様な自然環境に造詣が深く、様々なアドバイスをいただいたのですが、印象的だったのは何億円もするような大きな土木工事よりも、ちょっとした改善や工夫次第で動植物が守られたり水質が改善したりするというお話でした。工夫次第でできることをどんどん進めていきましょうという、そういった姿勢が私どもの100年プロジェクトでも非常に共感する部分があり非常に収穫の多い視察だったと思っております。また、1月11日のどんとファイヤーズにつきまして、翌週に堀工町のどんと焼きがございまして、その際にヨシをどんと焼きの中に入れるのですが、その準備を市民の方に手伝っていただくというのがどんとファイヤーズです。そちらの作業が終わったら実際に茂林寺沼湿原の木道を歩いていただいて、今年1年間取り組んできた作業などを振り返って湿原の健康診断のようなものを話して、木道が痛んでいるとか、水位が下がっているとか、外来種が抜き切れなかったということを歩きながら点検していく企画を湿原ドクターズという名前を付けて実施する予定でおります。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。

会議の経過	
栗原委員	14ページ、教育研究所事業にある11月27日のうどん作りに私も参加したのですが、本当に学級生が自主的に会話をしながら楽しく取り組んでいる姿が印象的でした。中にはうどんを作りながら「食堂で働こうかな」と話す学級生もいて、将来につながる体験活動になったのかなと思います。今後もこのようにキャリア教育につながる体験活動があればいいなと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	委員には講師としてご協力いただきまして、本当ありがとうございました。今日は学級の方で終わりの式というのがありまして、子どもたちが2学期の取組における感想や冬休みの目標、やりたいことを一人一人発表したのですが、その中でも本当に多くの子どもたちが2学期に体験した活動を述べていました。中にはうどんを初めて作ってとてもおいしかったと感想を述べたお子さんもいました。年間で約20回程度の体験活動等を用意しておりますので、その中で子どもたちの笑顔が溢れて会話も弾んで生き生きとすることで自信につながっていくのかなと思いますので、今後も工夫して取り組んでいきたいと思っております。
栗原委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	14ページ、ふれあい学級担任参観と情報交換の日があったようですが、その様子を教えてください。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	こちらは担任の先生にふれあい学級へ来ていただいてこれまでは授業を見ていたのですが、何か一緒に体験する方がもっと触れ合ったり会話だったりが増えるのではないかということで、今回は一緒に粘土で作品作りを行いました。会話をしながら黙々と粘土で作品を作って、非常に和やかな時間が流れたなと思いますし、前回は担任と子どもがペアになってボッチャ体験をしました。そのような形で子どもと先生が触れ合えました。子どもが帰った後には、ふれあい学級の先生と担任の先生で情報交換をしました。日頃から毎月ふれあい学級の様子と学校の様子とを出席日数も含めて情報交換しておりますので、今後も密に連携していきたいと思っております。

会議の経過	
井上委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	28ページ、毎月記載されているプラネタリウムの内容に関する部分がないのですが今月は投影がなかったということでしょうか。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	プラネタリウムドームは現在工事中のため、2月末まで投影を中止しております。その代替りですが、28ページをご覧いただきたいと思います。モバイルプラネタリウム星空解説会ということで書いてございます。大きなドームでの投影はできませんが、その代わりにモバイル型のプラネタリウムをお貸しいただきまして、そちらを13日から活用しているところでございます。直径4メートルの大きなかまぐらのような形のものを3階の多目的スペースに置いて、10人程度の方に入っていただいて季節の星空生解説を楽しんでいただいております。大体1番組15分のものを土日祝日は6回開催して、整理券を配布して無料で運用しております。しばらくはこの形で行い、3月からはリニューアルしたプラネタリウムを運用することになります。
木戸委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	19ページです。12月4日に駅伝大会が開催され、ずっと晴れだったのにその日だけ雨ということで、本当に職員の方がマンパワーで陸上競技場のトラックを整備して開催できる状態にまでされていてすごいなと思いました。質問ですが、雨にとっても弱い陸上競技場の改修計画が将来的にあるのか教えていただければと思います。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	まず、委員の皆様には小雨の降る寒い中、駅伝大会にご出席いただきまして誠にありがとうございました。おっしゃるとおり雨の対応ということで、スポーツ振興課の職員も一生懸命頑張らせていただきましたし、また、スポーツ推進委員や館林陸上競技クラブの皆さんにもご協力をいただきまして、整備を行い、おかげさまで何とか開催することができました。ご

会議の経過	
	質問の陸上競技場のトラックの改修計画でございますが、結論から申し上げますと、具体的な計画は今のところございません。全天候型のトラックにするには、莫大な費用がかかると見込まれているためです。まずは4年後に開催されます国民スポーツ大会に向けて、館林市はローイング、レスリング、軟式野球の競技会場となっておりますので、そちらに向けた整備、具体的にはダノン城沼アリーナの整備、また、今後城沼野球場整備にも莫大な費用がかかると予測されるため、まずは国スポの競技種目会場の整備に注力して、陸上競技場の整備はその後の検討課題として捉えてまいりたいと考えております。
栗原委員	当面は優先順位があるということですね。希望ですが、将来的には何とかしていただければいいと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	26ページ、11日にインターンシップで高校生を1名、職場体験で中学生が1名を科学館で受入れをされたようですが、どのようなことをされたのでしょうか。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	特に中学生は科学館まで自転車で本当によく来てくださったと思います。来てくださって体験したいということで、本当にありがたいと思いました。動機は2人とも同じで、将来行政関係の仕事に興味を持っているということでした。まず、高校生の体験といたしましては、小学生団体の対応をお願いしました。子どもにはどのような話し方をすればいいだろうと声の大きさや話すスピードなどを考えながら対応していました。また、どういったイベントを行えば科学館でお子さんたちが楽しめるかというテーマでプレゼンをしていただいたところ、ヨシとつつじを使ってハーバリウムをやったらいいのではないかという提案をしてくださいました。それから、中学生はちょうど時期的にクリスマスツリーの飾り付けを館内で行っておいりましたので、そういったことや工作などを一緒に丁寧に取り組んでくださいました。また、高齢者の団体に対してわかりやすく大きな声で、お年寄りでも聞き取りやすいように堂々と説明をしていたのが印象的でした。最後に、科学館を良くするためのアイディアをお聞きしたところ、プラネタリウムの魅力発信や宇宙関係の展示を充実すると良いのではないかと提案してくださいました。大変有意義なインターンだったのではな

会議の経過	
井上委員	いかと思っております。以上です。
教育長	ありがとうございます。
堀口委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
堀口委員	はい、堀口委員。
向井千秋記念子ども科学館長	25ページ、サイエンスショー「キッチンアラカルト」の内容について教えていただければと思います。
教育長	はい、教育長。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
	サイエンスショーは科学への興味・関心を深めることを目的に行っている30分間程度のショーで、毎月2回開催している定番の事業となっております。この月のテーマがキッチンアラカルトということで、台所にある物を利用しております。例えば、水を入れた大きなガラス水槽にいろいろな野菜を1個ずつ浮かべて、どれが浮かぶか又は浮かばないかを推測させながら密度の仕組みに触れていく、浮力を使った実験を行ったり、ペットボトルにお酢と重曹を入れてその上に風船を被せて風船を膨らませる二酸化炭素発生の実験や、コーラに塩を入れてものすごい泡が噴き出る実験を盛大にやったり、お子さんはもう目をキラキラさせながら楽しんでいただいております。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	29ページの図書館事業について、11月9日に教養講座が開催されましたが、講座の内容と、参加された方の反応等を教えていただければと思います。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	こちらは古文書入門講座と題しまして、2回の講座で古文書解読の基礎知識を学んだ後に何種類かの古文書を講師と一緒に解読して読んでいくというものです。今年NHKの大河ドラマが江戸の話なので、江戸時代の古文書を中心に解読を行いました。図書館には館林古文書研究会というグループがございまして、月に2回、図書館で活動しているのですが、その会長に講師をお願いして実施したものです。参加者はテキストに使った古文書を実際に手に取ることもできまして、古文書に興味を持ったという感想

会議の経過	
	を多くいただいております。その反面、やはり古文書を読んだので初心者には少し難しかったという感想もありました。定員２０名で募集しまして２１名の申し込みがあったのですが、当日の参加者はご覧のとおりとなります。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	６ページ、渡瀬公民館で学社連携講座を行っておりますが、内容について教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは学校と連携して講座を開催することで、学校と地域との絆を深めることを目的に実施しております。年３回の内容になっておりまして、１回目と２回目は九小の５年生を対象としております。３回目は４年生を対象としております。１回目は鉾毒事件による渡瀬地域の歴史や被害、環境問題について学び、２回目は実際に足尾町へ行きまして、植樹を通して自然の大切さや環境問題への関心を高めるということで行っております。３回目は４年生に次年度に向けた基礎知識の学習ということで行っております。ですから、４年生から５年生にかけて全部で３回行っているという形で行っておりまして、子どもたちも真剣に参加していると伺っております。
井上委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	給食の献立にミツカン提供献立というものがありますが、何を提供していただいたのかと、こういったものは企業側から提案があるのか、今後もこういった取組があるのかを教えてください。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	こちらにつきましては、納豆をいただきました。ミツカンのとろっ豆といいまして、ふたをパキッと割るとたれを小さく切らなくて済むので子どもがやりやすいということで、それをいただきました。納豆を混ぜるとふわふわになって納豆臭くないので子どもには人気があると言われています。

会議の経過	
	ミツカンさんから申し出をいただいて、去年も提供しております。ミツカンさんからは2回ほど提供したいということですが、春先ですと小学校一年生がまだ給食に慣れてないので、それを考慮して秋から冬と考えております。
木戸委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	給食に関連して、若鶏のマリネについて先月質問したのですが、その話を学校でするとものすごく皆さん残念がっているような状況で、できれば毎月とは言わないですが、たまには出してほしいという意見がありました。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	マリネは提供しなくなったわけではございません。先月もお話ししましたが、マリネの時の残食が多いので、味を変えていろいろ今試しているところです。それにつきましては、センターが独裁的に決めているわけではなく、小学校や中学校で献立予定会議というものを先生方の方で行って子どもたちの反応見ながらやっていますので、意見を伺いながら実施しております。
井上委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。 (委員から「なし」の声あり)
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程 第5 議事に入ります。 議案第55号 臨時代理の承認を求めることについて（令和7年度教育費補正予算）を議題といたします。
教育長	このことについて説明をお願いします。
教育総務課長	(別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 令和7年度歳入歳出予算を別紙のとおり調整し、館林市長に申し出るものとして臨時代理したので、承認を求めるものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありました

会議の経過	
	らお願いします。 (委員から「なし」の声あり) 教育長 それではお諮りします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり) 教育長 異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案代56号 館林市立学校給食センター設置及び管理条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題といたします。 このことについて説明をお願いします。 学校給食センター所長 (別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 学校給食費の特例の条件を追加するため、本規則の一部を改正しようとするものである。 教育長 ありがとうございます。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 (委員から「なし」の声あり) 教育長 それではお諮りします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 (委員から「異議なし」の声あり) 教育長 異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第57号 館林市物価高騰対応学校給食費助成金（令和7年度）交付要綱の制定についてを議題といたします。 このことについて説明をお願いします。 学校給食センター所長 (別紙資料に基づき説明) 提案理由等： 学校給食費の無償化に伴い、助成金を交付することに関し必要な事項を定めるため、本要綱を制定しようとするものである。 教育長 ありがとうございます。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 はい、教育長。 はい、栗原委員。 給食費の食材は値上げが激しいものなののでしょうか。 学校給食センター所長 はい、教育長。 教育長 はい、学校給食センター所長。 学校給食センター所長 令和7年度現在は月700円公費を充てております。小学校で頂いているは4,350円ですが、それでは足りませんので700円足して5,05

会議の経過	
栗原委員	0円で賄っております。中学校も同様に700円公費を充てております。
教育長	わかりました。
	そのほか、いかがでしょうか。
	(委員から「なし」の声あり)
教育長	それではお諮りします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。
	次に、議案第58号につきましては館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。
	(委員から「異議なし」の声あり)
教育長	異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。該当者については一時退室を願います。
	【傍聴人及び事務局対象者 退室】
	(非公開)
	【傍聴人及び事務局対象者 入室】
教育長	次に、日程第6 その他で何かございますか。
	(委員等から「なし」の声あり)
	ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。
	これにて教育委員会を閉会いたします。(午後4時4分)